

# 労働者の取り分が減っている？

## グローバル企業がもたらす影響

---

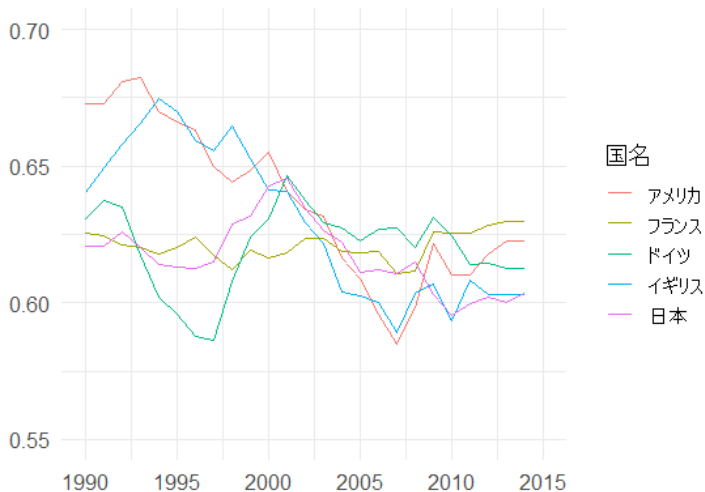
鈴木徳馬

東京大学大学院経済学研究科修士 1 年

# 労働分配率とは？

- ・ GDP とはある期間に国内で生産した財・サービスの付加価値の合計
- ・ GDP のうち労働者にどれだけ分配されているかを示す指標が労働分配率
- ・ 労働分配率は先進国で近年低下傾向にある。
- ・ 労働者の取り分はなぜ減ってきてるのだろうか？

## 労働分配率の変遷



出所: Penn World Table 9.0.

- ・ グーグルやアップルのようなグローバル企業は利益が多く、労働分配率は低い
- ・ そうした企業が経済に占めるシェアが増加
- ・ 経済全体の労働分配率が低下したのではないか？

仮説から考えられる以下の問いをデータを用いて検証。

1. 売上の集中度の高い産業ほど労働分配率が低い
2. 労働分配率の低下は既存企業の構成の変化の影響が大きい
3. 集中度が高い産業ほどそうした構成変化の影響が大きい

# 集中度と分配率の関係

- ・ 回帰分析と呼ばれる手法を用いて関係をチェックする。
- ・ 売上集中度の指標:
  - ・ 各産業のトップ 4 社の売上げが何 % か
- ・ 各産業の労働分配率の 5 年間の変化に売上げ集中度の変化がどれだけ影響を与えたかを分析！

- ・ 売上集中度が高まるほど労働分配率は低下する！
- ・ 様々な要因を検討してもこの関係は統計的に有意
- ・ 検証課題の1つ目が正しいことが確認された

- ・ 労働分配率の変化は次の 4 つの要素に分解できる！

$$\begin{aligned}\text{労働分配率の変化} = & \text{退出しない企業の平均労働分配率の変化} \\ & + \text{退出しない企業の構成の変化} \\ & + \text{既存企業の退出による効果} \\ & + \text{新規企業の参入による効果}\end{aligned}$$



# 製造業における要因分解の結果

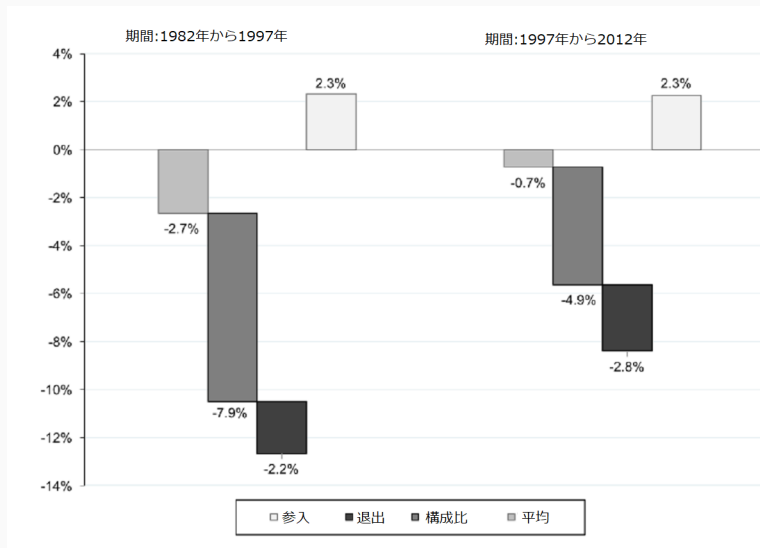


Figure 1: 出所: Autor et al.(2017) 一部改変

# 製造業における要因分解の解釈

- ・ 平均労働分配率の変化は小さい
- ・ 構成の変化が大きな影響を与えている！
  - ・ 一部の企業の変化が労働分配率を大きく下げている
- ・ 退出企業は労働分配率の低下に貢献
  - ・ 高い労働分配率の企業が多く退出
  - ・ 一般的に収益性が低いことを示す
- ・ 参入企業の存在が労働分配率を高めている
  - ・ 市場シェア獲得のため利益率を下げていることから、売上に占める人件費が高くなる。

- ・ 要因分解を踏まえて集中度との関係进行分析
- ・ 1つ目の問いと同じく回帰分析を行う
  - ・ 4つの要因分解結果に集中度の変化はどれだけ関係しているか
- ・ 産業ごとに分析を実施

# 回帰分析結果

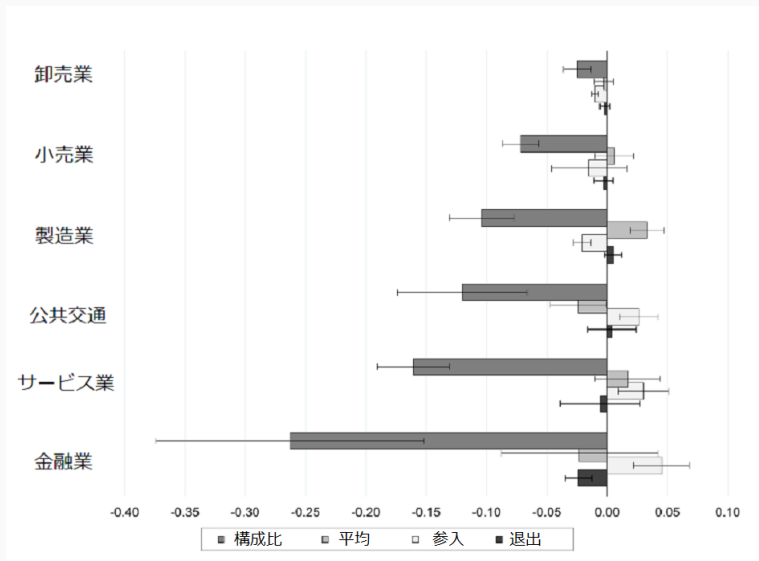


Figure 2: 出所:Autor et al.(2017) 一部改変

- ・集中度の増加するほど構成比が労働分配率を下げる影響が強くなる
- ・こうした影響はほかの要因よりも非常に大きい
- ・これらは労働分配率が小さい企業のシェアの増加を意味
- ・全ての産業で同様の傾向がみられる

- ・ グローバル企業が労働分配率に与える影響を分析
  - ・ 売上集中度が高いほど労働分配率は低下している
  - ・ 労働分配率の低下は既存企業の構成の変化の影響が大きい
  - ・ 特に分配率の低い企業のシェアの増加による影響が大きい
- ・ こうした労働分配率の低下に関する分析は始まったばかり。
  - ・ 三好 (2018) が様々な分析を紹介
- ・ まだ分かっていないことが多い！
- ・ それが経済学研究の面白いところかも。